

学校名 鹿児島市立平川小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>創意の時間の活動で、おやじの会の協力をもらいながら、10月に全校で学校近くの海岸に赴き「野外炊飯」活動を行っている。</p> <p>その際に、海岸の清掃活動を行い、拾った流木を燃料にして、飯ごうで炊飯し、給食室で調理したカレールーをかけて、カレーライスと一緒に食べる活動を行っている。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>平川小学校では、これまで野外炊飯活動に伴う海岸清掃活動を、年1回、全学年で取り組んできた。活動が始まったのは、平成16年からであり、児童に平川の自然を大切にする活動を体験させるために、この活動が始まった。</p> <p>飯ごう炊飯</p>
③ 月間又は年間活動回数	年1回 2単位時間（10月上旬実施）

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	平川シーサイドマリナー近くの海岸
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	全校児童（90名）、教職員（12名）、おやじの会（10名程度）
⑥ 活動1回当たりの平均時間	150分程度
⑦ 収集ごみの処分	流木は、飯ごう炊飯の燃料に使用し、その他は、学校に持ち帰り、分別し、ゴミ出しの日に処分する。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>本校の環境教育の一環として、創意の時間に実施している。</p> <p>全校児童を縦割り班に分け、児童同士が協力して海岸清掃活動・野外炊飯活動を進めていく。</p>
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	年1回の実施であるが、児童や地域の平川海岸の環境に対する意識は高まってきている。
② 地域住民との協力活動	「おやじの会」の協力を得て、道具の運搬や火おこしの補助などをしていただいている。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	保護者を中心に、野外炊飯活動、海岸清掃活動への理解を得ている。

項 目	活動内容等
<p>(4) 環境教育との関連</p> <p>① 環境教育と活動との結びつき</p> <p>② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化</p> <p>③ 当該活動以外の環境教育実践活動</p>	<p>「人や自然への思いやりの心を持ち、よりよい環境づくりに積極的に関わろうとする子供を育成する。」という環境教育目標を掲げ、特に総合的な学習の時間や創意の時間において、環境教育に関する学習の場として、地域の自然に親しむ体験的活動を推進し、自然とふれあい、自然を愛護し、郷土の文化財なども大切にしようとする実践力の育成を図っている。</p> <p>平川の自然環境の一つである、学校近隣の海岸にいろいろな種類のごみが打ち上げられていることを見て、そのごみを拾って環境美化に対する意識を高めている。特に高学年においては、この野外炊飯に伴う海岸清掃活動のほかに、奉仕活動・ボランティア活動に積極的に関わろうとする児童が増えてきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4校（錦江湾高校、福平中学校、福平小学校、平川小学校）PTA合同奉仕作業による、通学路及び五位野駅、平川駅周辺の清掃活動 ・ 学校版環境ISO活動 ・ 総合的な学習の時間でのびわの栽培と収穫（3・4年生） ・ 総合的な学習の時間での環境問題学習（3～5年） 3年：動物と環境，4年：ごみのない世界へ（ごみの3R教室実施），5年：環境問題について考えよう。（ダンボールコンポストへの取組） ・ 漁業の観点から錦江湾の自然について学ぶ魚食推進事業（5・6年児童による真鯛の稚魚放流・錦江湾の資源について学習，全校児童への真鯛の給食提供） ・ 飼育栽培委員会による植物の栽培活動 ・ 環境チェックカードの活用（月ごとの取組，反省） ・ 一人一鉢活動での全校児童による栽培活動
<p>(5) 当該活動で表彰を受けたことがありますか</p>	<p>なし</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校時表運用の工夫（A・B校時による活動時間の確保） ・ 委員会活動の時間 ・ 総合的な学習の時間 ・ 創意の時間 ・ 始業前の15分間を学級で活用している。
<p>3 その他特記事項</p>	<p>なし</p>

飯ごう炊飯

10月5日（水）に平川シーサイドマリーナで、2年ぶりに全学年での野外炊飯活動を実施しました。当日は、「おやじの会」の皆様も協力してくださいました。

まず、海岸に落ちている流木を集めました。海岸には多くの流木が流れ着いていて、みんなで協力して集めました。流木のほかにもプラスチックごみが散乱しているところもあり、分別しながら清掃作業を行いました。

次に、石やブロックを積み重ね、その上に金網を載せてかまどをつくりました。かまどが完成したら、集めた流木を薪にして火を付けました。めらめらと燃え上がる炎をみながら飯ごうをセットしました。

最後に、給食室で作ってもらったカレーライスをかけて、おいしくいただきました。

海岸清掃で平川の海岸の環境整備を行い、出たごみを燃料として活用し、食事をつくるエコ活動を通して、錦江湾や豊かな自然と関わり、これからも豊かな自然環境を大切にしていきたいという思いを一層強くすることができた時間となりました。



海岸に落ちている流木を全員で協力しながら拾います。この流木が飯ごう炊飯の薪となります。



ブロックや石を積みかまどが出来上がたら、流木を小さい順にセットして火を付けます。拾ったごみのご飯を炊く材料となりました。